

「The Third Way Forum」というコミュニティを立ち上げた。対象は日本企業に勤める外国人だ。外国人社員に対して「日本企業になじめ」というのではない。日



本企業に「外国人に合わせろ」というのではない。第三の道を共に模索しようという願いを込めてThe Third Wayと名づけた。立ち上げのパーティには約50名、23カ国の外国人が参集した。



インディゴブルー会長

柴田 励司

1985年上智大文卒。マーサージャパン社長、カルチュア・コンビニエンス・クラブの最高執行責任者(COO)などを経て、2010年インディゴブルー社長、15年から会長。

グローバル化の推進を願う。なぜいつまでも日本企業図って、日本企業で働く外はグローバル化できないの。日本人社員が増えている。ここ。根本的な理由は日本人は良い傾向だ。ところが、にグローバル化のためのその多くの人たちが十分に「レディネス」がないから活用されているとは言い難いと思う。レディネスとは

足りぬ国際化への準備

外国人が普通に働く場

い。不満分子となるか、早晩辞めていく傾向にある。たいへん残念。かつもったいない。この傾向は昔から変わらなく、日常的に「異」との共存しておくこと、日本企業に優秀な海外人材が集まらなくるに成長はなく、経済も発展しない。

最近、飲食店やコンビニ

エンズストアで働く外国人を多く目にする。日本語も堪能だ。彼ら彼女らの中に、将来日本でビジネスマ

グローバル化を意図する日本企業にとっての疑似体験の場にした